

2026年10月8日 木曜日

SAMPLE

セッカチーナ様 2027年の予想図

2027年を単純に「仕事運が上がる／下がる」で見ると、

1～3月：構造を固める

3～5月：考える・伝える・整理する

5～6月：切る・手放す

6～8月：自分自身を前面に出す

8～11月：感情・居場所・生活基盤が動く

11月以降：実際に動く・決断する

という時間構造で見るほうが面白い。

そしてこれは、D1の **AK Saturn／AmK Mars**、D10の配置、A10・A11がともに1室という、これまで見てきた「古い社会的役割を解体して、自分自身を仕事の核にしていく」というテーマとも重なる。

=====

2027年の結論

<全体像>

2027年は「新しい仕事を探す年」というより、「これまでの社会的な自分を終わらせて、自分自身を仕事の中心に据える年」になる可能性が高い。

特に大きいのは、

5月～8月。

ここでかなり明確な切り替えが起こる。そして、

11月以降、考えていたことを実際に動かすという流れ。

1月

Saturn / Venus / Jupiter → Saturn L3

1月前半まではSaturn/Venusの余韻。

Venusはこの人のD1で牡牛座・7室・自室。

だから2026年～2027年前半のSaturn/Venusは、

- 人との関係
- 顧客
- パートナー
- お金
- 自分が提供できる価値
- 「誰と組むか」

をかなり重要にしている。そして1/25前後、JupiterがCancerへ戻る。

Cancerはこの人の9室。

ここは、

学び・思想・専門知識・教えること・人生哲学・遠方・新しい世界観
の領域。

つまり1月は、「これから何を仕事にするか」よりも、

「自分は何を知っていて、何を人に渡せるのか」を整理する時期。

仕事

まだ大きく動くより、専門性の棚卸し。

お金

既存の仕事・人脈から得られるものを整理。

手放すもの

「今までやってきたから続ける」という惰性。

2月

Saturn L3

ここからかなりSaturn色が強くなる。

Saturnはこの人の**AK**。

しかもD1では4室・Aquarius自室。

これは単純な「仕事運」ではない。

人生の土台そのものを作り替える。

2月は、

- 生活スタイル
- 居場所
- 働き方

- 家
- 家族との距離
- 自分の時間
- 今後の人生設計

などを現実的に考える。

ここで重要なのは、

「何をするか」より「どういう構造で生きるか」。

2月の判断

この人にとって、 仕事を変える＝生活構造を変える になりやすい。

だから転職だけを考えても答えが出にくい。

3月

3/24 Mercury L3へ

ここが最初の転換点。MercuryはD1で**6室**。そしてD10では**1室Leo**。

つまり、

問題解決能力・分析・言語化・伝達が仕事そのものになっていく。

3月後半から、

- 書く
- 話す
- 教える
- 説明する
- 相談に乗る
- 情報を整理する
- 方法論を作る

という方向が強くなる。

ここで「自分は何を知っているのか」を言葉にし始める可能性が高い。

重要

この人の場合、

知識そのものより、「知識を使って問題を解決する」ことが仕事になる。

4月

Saturn / Venus / Mercury

4月はかなり「仕事を形にする」月。

Mercury L3 + Jupiter 9室。

だから、

知識 → 言語化 → 教える／伝える

の流れが出やすい。

たとえば、

- 講座
- コンサルティング
- 教育
- 執筆
- 情報発信
- 専門サービス
- 独自メソッド

など。

ただし、この段階ではまだ完成形ではない。むしろ、「これって仕事になるんじゃないか？」という感覚が出始める時期。

以下略

2027年を一本のストーリーにすると

1～3月

古い人生構造を整理する

↓

3～5月

自分の知識・経験を言語化する

↓

5～6月

古い専門性・肩書き・信念を切る

↓

6～8月

「自分は何者として仕事をするのか」を決める

↓

8～10月

仕事と生活・居場所を再設計する

↓

10～11月

自分で作るものを固める

↓

11～12月

それを社会に出して、収益につなげ始める

では「何を手放すのか」

ここはかなり明確に出ている。

単純に、「今の仕事を辞める」ではない。

手放すのは、

「自分の価値は、今までやってきた仕事を続けることで証明される」

という自己定義。そして、

「組織・肩書き・所属先が自分の社会的価値を保証してくれる」

という構造。

さらに、「自分の経験は、自分だけのもの」という状態も終わる。

(以下略)

では「次に何を仕事にするのか」

(以下略)

そして、2027年で一番重要なのはここ

この人の場合、

「何の仕事をするか」より、「誰として仕事をするか」

のほうが重要。

2027年6～8月にそこが切り替わり、

11月以降にそれを仕事・顧客・収入という現実にとす。

(以下略)